

県会議員 奥村のり子の
しんぶん 赤旗読者ニュース

2013年10月13日 第103号

——奥村のり子生活相談所——

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7127



和医大を視察後、札幌医大へ
医療の充実へ勉強になりました

今週は視察先の北海道から第一日目の報告をさせていただきます。8日から10日まで福祉環境委員会から県内外調査に参加しました。初日は和歌山県立医科大学の地域医療支援センターを訪れました。このセンターは、県内の地域医療を充実させるため、県より委託を受け、2011年4月に県立医科大学内に設置されています。

県では人口10万人当たり医療施設医師数は592人、平成22年厚生労働省調査と全国平均を上回っていますが、実態は約54%の医師が和歌山市に集中し、地域偏在が診療科偏在を起して

います。このような中、県民の運動もあり、緊急医師確保対策として2008年より県立医科大学の入学枠が拡大され、卒業9年間地域中核病院での研修を行なう「県民医療枠」、へき地域拠点病院を中心に研修を行なう「地域医療枠」の学生が誕生しています。

地域医療支援センターでは「県民医療枠」「地域医療枠」の卒業9年間の専門医、総合医を養成する研修を通して地域医療従事医師の養成、地域医療の

充実に取り組みられています。第一線で地域医療を担う医師が定着できるよう県としても充分な支援が必要と感じました。

午後からは北海道に飛び札幌医科大学付属病院でお話を伺いました。患者さん自身の骨髄液の中のある細胞を培養して治療をつくり、それを点滴投与するという取組には驚きました。脳梗塞の後遺症が劇的に改善された例が紹介されました。また医師派遣制度では、北海道からの要請に基づく教員派遣制度、札幌医科大学の教員を医師研修が困難な地域に常勤医師として原則1医療機関4年限度)について大変勉強になりました。(S子=札幌より)

“就活自殺”が急増しています

前号で奥村のり子さんが、若者に厳しい雇用環境を紹介。それを読んで、約1ヶ月前のNHKの早朝番組「視点論点」で「就活自殺」の背景に迫るを思い出した。大学生が就職活動に失敗して自殺する人が07年に600人だったのが12年には150人へ急増しているという話。NPO自殺対策支援センター ライフリンク代表、清水康之氏のお話。氏によると「これはあくまで氷山の一角」で「自殺未遂者は、実際に10倍になる人の10倍はいる」と言われ、少なくとも毎年千人以上の20代が、就職失敗を理由に自殺を試みる計算になるという。昔とちがって、今の学生は300社、500社、1000社回しても1つも内定をもらえない学生も少なくない。学生達の圧倒的多数が望むのは「正社員」です。でも相次ぐ規制緩和で働くルールは破壊され、安上がりの非正規社員が急増。多数の企業を回って内定がなければ「こんな人生バカバカしい」と、本気で死にたい」と思った学生は5人に1人で、やがて就職しても3年以内に離職は3割もいるという。ブラック企業で若者を使い捨てた例、15歳〜34歳で死因の第1位が病気や事故ではなく「自殺」というのは先進7カ国で日本だけです。編集室

のり子の週間日誌 (主なもの)

- 10月11日 市駅前宣伝、団会議、党社保部会
- 12日 地域要求研究集会
- 13日 生協まつり、宣伝行動(城北)
- 14日 地域訪問
- 15日 年金者一揆
- 16日 視力障害者の生活を守る会県交渉
- 17日 無料生活相談日

札幌医科大学付属病院で話を聞く福祉環境委員会の議員さん。(後列右端がのり子です)



子ども医療費無料化を

「もう一人欲しいけど生活が大変」難病指定されていないので医療費の負担が大きい」子どもの医療費を中学校卒業まで無料化する運動を始めて約2年になります。前回の市議員選挙で制度の実現を訴え、その後、共感してくれた人達と一緒に、安心して子育てできる和歌山市を一人と会を作って取り組んで来ました。

メンバーの友人や保育園のお母さん、お父さんなど知り合いに署名を訴え、イベント会場や公園にも集めに行きました。和歌山市に引越して来て医療費が必要で驚いた「兄弟がい

様々な機会や場所で署名に取り組んでいます



るのでうけると家計が厳しい」など色々な悩みが届いています。また、署名を集めて届けられる方もたくさんいらっしゃいます。中には用紙をコピーして、100筆ほど集めてくれた方もいらっしゃいます。

これから、インフルエンザの季節です。去年はギリギリまで様子を見て病院に行くと話をお聞きしました。この方は3人のママと子育てにも少し余裕が出てきたとおっしゃっていました。余計な心配は尽きなくなりました。ですが、それでも心配は尽きなくなりました。心配もひとしおだと思えます。せめて、病院代の心配をせず、済むよう制度の拡充を実現し安心して子育てできる和歌山市を作りたいです。

党市・青年部長
中村 朝人



Relay talk リレートーク Relay talk